

災害復旧における デジタルマップの活用について

最上総合支庁
建設部 河川砂防課
技師 長南 公平

目次

- 1.活用の経緯
- 2.デジタルマップとは？
- 3.活用状況
- 4.まとめ

この資料は生成AIをベースに作成しています。

1.活用の経緯

背景:

令和6年7月の豪雨により甚大な災害発生！

最上地域の被災箇所数	
県管理河川・砂防	301箇所
県管理道路	93箇所
合 計	394箇所

査定決定額179.3億円(工事雑費等を含まない)

平成以降最多
(豪雨災害として)



新田川 越水破堤
(新庄市本合海地内)



急傾斜施設災害
(鮭川村川口地内)

復旧に向けた課題:

①被災箇所全体を把握している職員の不足

- ・課内職員、応援職員で分業実施
- ・箇所毎の詳細な内容の把握不足

②新体制に伴う地理的不安

- ・県外応援職員、管外からの職員

③災害箇所が最上地域の広範囲に点在

- ・県民への情報提供方法の確立
(被災箇所が多く復旧通信等の発行が困難)

etc.

課題解決に向けて

目的:

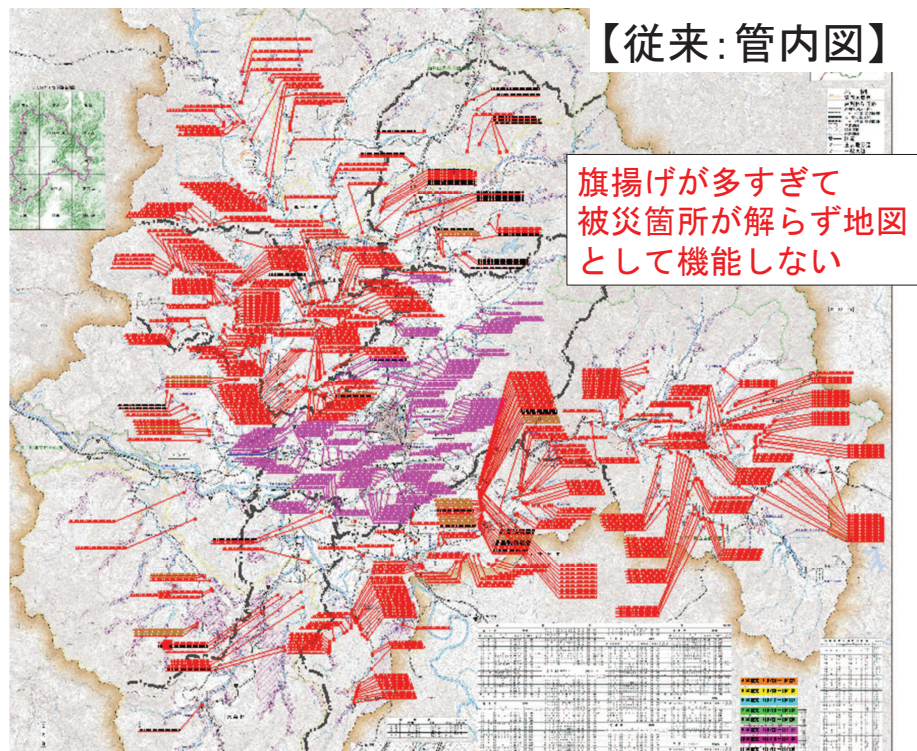
現地の位置や状況を

誰でも簡単にわかりやすく情報共有

できるようにしたい。



位置情報・写真・工事概要などを
一元管理可能なデジタルマップを活用



2. デジタルマップとは

デジタルマップとは

スマホやパソコン等デジタル端末で
利用できるデータ化された地図のこと
(例. Google map、Yahoo!map、MapFan 等)

今回は代表的で扱いやすい
Google mapをベースにマップを作成

山形県での活用例:

クママップ

クーリングシェルターマップ 等



3.活用状況



基本機能

・マーカー追加

地点にピンを立て情報を記入、マーカーのカスタマイズ

・レイヤ管理

複数階層で地図情報を整理、表示・非表示の切り替え

・共有設定

URL共有、共同編集、限定公開等の設定

・ルート作成

徒歩・車・自転車等のルート表示、案内機能

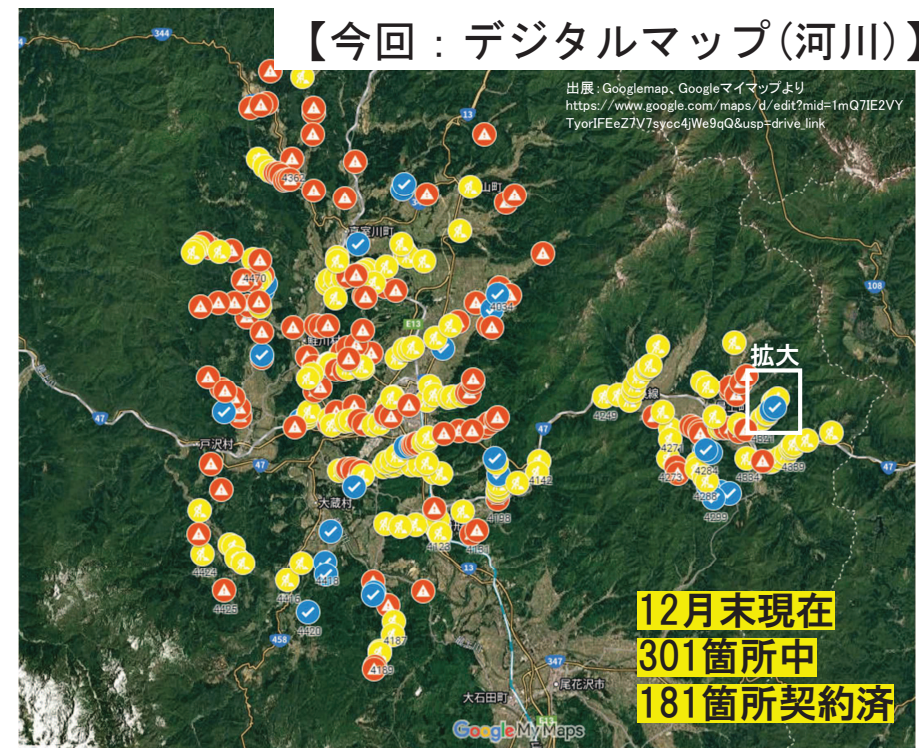
・データインポート/エクスポート

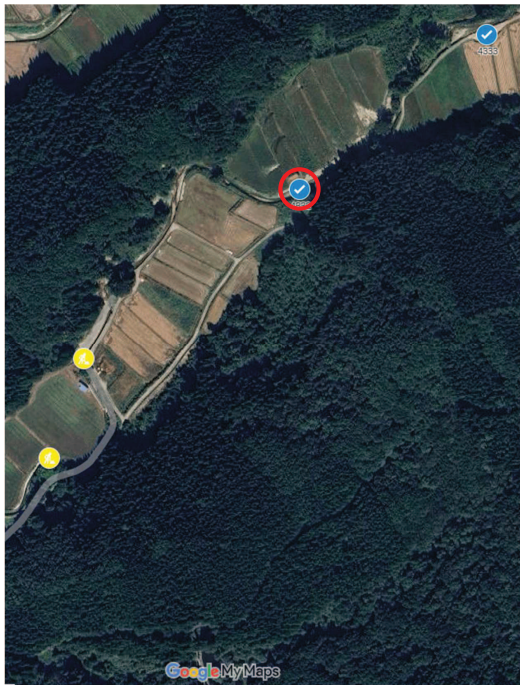
座標データの一括登録、他マップへのデータの流用

※注意事項

- ・端末の電波状況やバッテリー残量の影響を受ける。
- ・著作権には要注意。

【今回：デジタルマップ(河川)】





名前
4332

説明
河川名称 仏沢川
施工箇所 最上町富澤 (4)
復旧延長 L=119.9m
施工業者 [REDACTED]
施工期間 R7.5.9~R7.9.3



写真 4 枚

出展: Googlemap、Googleマイマップより
https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1mQ7IE2VYTyrIFeEz7V7sycc4jWe9qQ&usp=drive_link

進捗状況写真により
ビフォーアフター
もわかるように



出展: Googlemap、Googleマイマップより
https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1mQ7IE2VYTyrIFeEz7V7sycc4jWe9qQ&usp=drive_link

県HPでデジタルマップを公開中



出展: 山形県HPより

管内各市町村広報誌で周知



参考資料: 最上町広報誌 (令和7年8月号)

4.まとめ

デジタルマップ作成の効果

- ①職員間、関係機関との情報共有
問合せ対応への円滑な対応
- ②他管理者との打合せに活用
国交省、市町村、JR、NTT等各管理施設との調整
- ③ルート案内機能で迷わず現場に行ける
県外からの支援職員も有効活用
- ④積算資料作成に活用
発注ロットの検討、運搬距離の測定等が容易に
- ⑤地域住民への復旧状況周知に活用
進捗状況を随時更新し復旧通信の代用

今後の展望

- ①被災直後からの活用
業者との被災箇所との共有
応急復旧箇所の指示
- ②災害復旧以外での活用
重要水防箇所MAP
雪崩危険箇所MAP 等
- ③今後の課題
デジタルに不慣れな方への対応

おわり

ご清聴ありがとうございました。

最上河川災害MAP



最上道路災害MAP

